

公益財団法人小倉百人一首文化財団

2019年度 事業報告書

2019年4月 1日から

2020年3月31日まで

< 概要 >

基幹施設である「嵯峨嵐山文華館」にて、小倉百人一首に関する常設展や競技かるたイベント、講座の開催を通じ、小倉百人一首の普及啓発に努めた。また日本画に関する企画展を4回開催し、京都並びに日本文化の振興を図ると共に、地域活性化にも協力した。

1. 事務局

(1) 所在地

京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11 嵯峨嵐山文華館内

(2) 職員数

6名(株式会社AMG社員と兼務)

2. 会員加入状況(2020年3月31日現在)

賛助会員 (1口/3万円) 73件・84口

	2019年度末		(参考) 2018年度末	
	件	口	件	口
京商からの紹介	23	24	25	34
その他	50	60	71	78
計	73	84	96	112

友の会会員 (1口/3千円) 52件・52口

3. 会議

(1) 理事会

第17回 (2019年6月11日)

出席者 理事5名 監事2名 参与1名 計8名 於：嵯峨嵐山文華館

- 議案 (1) 平成30年度事業報告書(案)について
(2) 平成30年度収支決算(案)について
(3) 理事・監事・評議員の選任について
(4) 第12回評議員会招集について
(5) カフェの運営について
(6) 令和元年度収支予算の補正について

第18回 (2020年5月12日) ※新型コロナウイルス感染拡大のため遅れての開催

出席者 理事4名 監事1名 参与2名 計7名 於：嵯峨嵐山文華館

- 議案 (1) 2020年度事業計画について
(2) 2020年度収支予算(案)について
(3) 長期修繕計画について
(4) 福田美術館との利益相反取引について
(5) 貸会場規約の変更について
(6) 会員規則の変更について

- 報告 (1) 理事会(みなし決議)の報告
(2) 今期の運営報告について

(2) 評議員会

第11回 (2019年6月27日)

出席者 評議員7名 監事2名 理事2名 計11名 於：嵯峨嵐山文華館

- 議案 (1) 平成30年度事業報告(案)について
(2) 平成30年度収支決算(案)について
(3) 理事・監事・評議員の辞任及び選任について

- 報告 (1) 平成31年度事業予定(案)
(2) カフェの運営について

(3) 監事会

(2019年5月30日) 出席者 監事2名 於：西院ビル(株式会社AMG)

4. 博物館管理運営事業

(1) 嵯峨嵐山文華館 概要

開館 平成 18 年 1 月 27 日

休館 平成 23 年 4 月 1 日 (展示施設入れ替えのため)

リニューアルオープン 平成 24 年 3 月 17 日

休館 平成 29 年 3 月 21 日 (展示施設入れ替えのため)

嵯峨嵐山文華館としてリニューアルオープン 平成 30 年 11 月 1 日

所在地 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町 11 番

規模 地上 2 階建 和風建築

施設構成 1 階：常設展示室, 企画展示室

2 階：企画展示室 イベントスペース

敷地面積 2,324.90 m² (約 703 坪)

延床面積 1,344.96 m² (約 407 坪)

休館日 火曜日 (火曜日が祝日の場合は翌平日)

開館時間 10:00~17:00 (ただし入場は 16:30 まで)

入場料 大人 900 円 (800 円) 高校生 500 円 (400 円) 小中学生 300 円 (250 円)

障害者及び介添人 500 円 (400 円)

※ () 内は 20 名以上団体

入館者数 19,751 名

個人利用 10,841 名 (55%) 内大人 8,271 名 (76%) 高校生 396 名 (4%)

小中学生 1719 名 (16%) 障害者及び介添人 455 名 (4%)

割引利用 2,766 名 (14%) 内大人 2,178 名 (79%) 高校生 132 名 (5%)

小中学生 452 名 (16%) 障害者及び介添人 4 名 (0.1%)

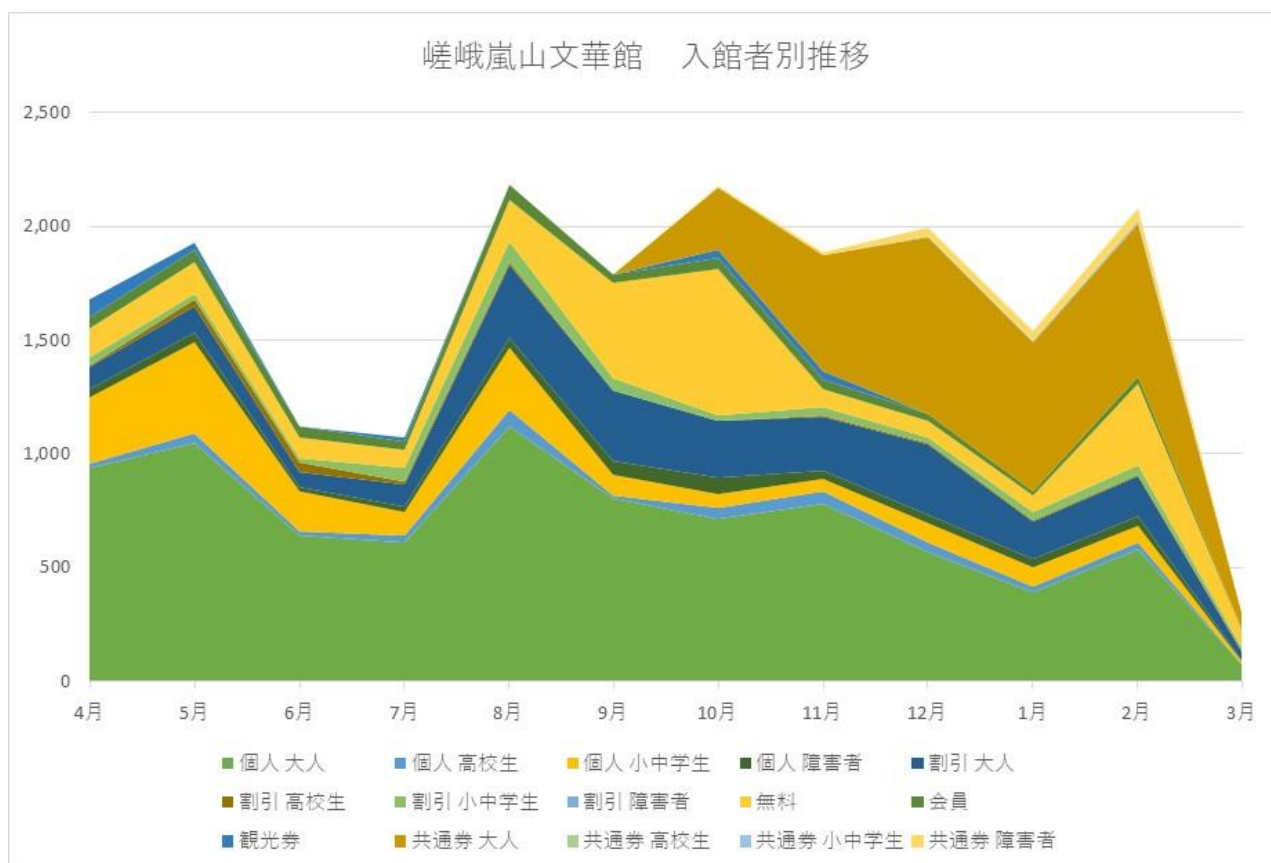
福田美術館共通券 3127 名 (14%) 内大人 2,953 名 (94%) 高校生 9 名 (0.3%)

小中学生 19 名 (11%) 障害者及び介添人 146 名 (5%)

無料 2,353 名 (12%) ※無料招待券販売分 330 を含む

会員 459 名 (2%)

観光券 205 名 (1%)



(2) 事業概要

①小倉百人一首に関する常設展の運営

藤原定家に始まり、昨今の競技かるたブームに至る小倉百人一首の歴史を常設展「百人一首ヒストリー」において、所蔵品のかるたや書画、歌仙人形を活用して日本語・英語でわかりやすく展示した。(展示替1回)
また、競技かるたのルールをわかりやすく解説した英語字幕付きビデオを館内で放映した。

② 企画展の運営

- Songs - 定家の書、芭蕉の句、夢二のうた -
来館者数 2801 名 (1日あたり 78 名)
- ときたび - 時を超え 名画で旅する日本の名所 -
来館者数 2687 名 (1日あたり 46 名)
- いろトリどり
来館者数 6159 名 (1日あたり 83 名)
- 夢二のてしごと
来館者数 5628 名 (1日あたり 83 名)
- THE 百人一首
来館者数 2497 名 (1日あたり 81 名)

- ③ 所蔵品画像・資料貸出 8件
- ④ 百人一首並びに日本美術に関する資料および関連情報等の収集
- ⑤ 百人一首並びに日本美術に関する調査研究

4. 芸術文化啓発事業

(1) 芸術文化普及活動

① 常設展関連 計1事業 (3回)

- 吉海先生による百人一首講座 計3回(2019/5/26, 7/27, 10/26)

② 競技かるた関連 計3事業 (4回)

- 西郷永世名人による競技かるたレベルアップ講座 (2019/5/4)
- 競技かるた初心者講座 (2回) (2019/8/17, 2020/1/4)
※大津あきのた会 協力
- 競技かるたレベルアップ講座 (2019/8/18)
※大津あきのた会 協力

注) 2020/2/23, 3, 22, 3/28 に予定していた競技かるた講座は Covid-19 感染対策のため中止

③ 企画展関連 計12事業 (16回)

- 村田隆志先生による俳画講座 (2019/4/6)
- 夏井いつき先生による句会ライブ (2019/4/26)
- 奥平俊六先生による洛中洛外図講演会 (2019/6/22)
- 岡本正義氏による東海道五十三次の今を訪ねて (2019/7/6)
- 山階鳥類研究所奥野卓司所長により『鳥獣戯画』から『火の鳥』まで (2019/8/10)
- 鷹匠実演「文華館に鷹匠がやってくる！」(2019/8/17)
- 鶺鴒実演「はたらく鶺鴒」(2019/8/24)
- 夢二の恋人彦乃の姪・坂原美千代氏講演会 (2019/11/3)
- クラフトワークショップ (2回) (2019/11/2, 12/7-8)
- 第1回ちはやふる小倉山杯
- 学芸員による講演会 (1回)
- ぬりえ企画 (4回)
※Covid-19 感染拡大により他1件のイベントを中止

④ 常設展・企画展共通 計2事業 (72回)

- 学芸員による展示無料解説 (週末開催、計69回) ※3/23以降中止
- 子供向けクイズ企画(3回)

⑤ 小倉百人一首関連イベントの後援 計3事業 (13回)

小倉百人一首競技かるた大会 第66期名人位・第64期クイーン位決定戦
第20回五色百人一首京都府大会 (Covid-19 感染拡大のため中止)
京都百人一首・かるた研究会主催イベント「百人一首で、京都を歩く」(2020/2以降中止)

⑥ 京都文化イベントの支援 計1事業 (1回)

第一回京都文化ちびっこかるた大会 於：嵯峨嵐山文華館

(2) 地域活性化事業

嵐山保勝会並びに十軒会に協力し、三船祭、もみじ祭、嵐山花灯路など3件の祭事に協力すると共に、齋宮行列並びに嵐山で開催された全国鶺鴒サミットに協賛した。また十軒会が中心となって行っている亀山公園における桜の植樹活動にも協力した。

(3) 小倉百人一首歌碑建立事業

① 概要

小倉百人一首ゆかりの嵐山・嵯峨野地域において、小倉百人一首を構成する10の勅撰和歌集毎に100首の歌碑を建立し、「小倉百人一首文芸苑」として雅な世界を甦らせるとともに、その文化の継承と発展をはかった。具体的には歌碑と周辺の観光情報を紹介する「歌碑巡りマップ」の配布等を行い、除草や剪定など年間を通じた定期的なメンテナンスを実施し、劣化した竹垣や柵などの補修に努めた。野々宮歌碑苑をボランティアで清掃・管理している方から要望が寄せられている。

② 歌碑建立地と建立数

亀山地区〔49首〕（右京区嵯峨亀ノ尾町 京都府立嵐山公園亀山地区内）

古今集 24首，拾遺集 11首，後拾遺集 14首

長神の杜地区〔19首〕（右京区嵯峨二尊院門前長神町 京都市長神の杜内）

詞花集 5首，新古今集 14首

嵐山東地区〔21首〕（西京区嵐山樋ノ上町 京都府立嵐山東公園内）

金葉集 5首，千載集 14首，続後撰集 2首

野々宮地区〔4首〕（右京区嵯峨天龍寺立石町 京都市都市計画局風致保全課管理地内）

新勅撰集 4首

奥野々宮地区〔7首〕（右京区嵯峨天龍寺立石町 京都市都市計画局風致保全課管理地内）

後撰集 7首

(4) 広報・普及活動

リニューアルオープンと同時にホームページを刷新すると共に、Facebook、Twitter、Instagram、Google も活用しながら百人一首並びに日本画の歴史や魅力に関して、継続的に情報発信を行った。また、新聞やテレビ、ラジオ、雑誌、Web等の媒体を通じて、嵯峨嵐山文華館の認知度向上に努めた。

以 上